



平成31年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年12月13日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東
 コード番号 6336 URL <http://www.ishiihyoki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石井 峯夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 渡邊 伸樹 TEL 084-960-1247
 四半期報告書提出予定日 平成30年12月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第3四半期の連結業績（平成30年2月1日～平成30年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第3四半期	8,762	△6.0	894	△3.2	913	△5.6	709	△17.2
30年1月期第3四半期	9,319	33.2	924	112.0	967	244.0	856	243.8

(注) 包括利益 31年1月期第3四半期 664百万円 (△22.3%) 30年1月期第3四半期 854百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第3四半期	87.02	-
30年1月期第3四半期	105.07	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第3四半期	13,902	2,736	19.2
30年1月期	11,806	2,115	17.4

(参考) 自己資本 31年1月期第3四半期 2,669百万円 30年1月期 2,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
31年1月期	-	5.00	-	-	-
31年1月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年1月期の連結業績予想（平成30年2月1日～平成31年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,922	0.5	1,146	△9.8	1,110	△13.2	899	△26.0	110.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年1月期3Q	8,176,452株	30年1月期	8,176,452株
② 期末自己株式数	31年1月期3Q	23,233株	30年1月期	23,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年1月期3Q	8,153,219株	30年1月期3Q	8,153,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しております。

先行きにつきましては、雇用、所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。また、相次いでいる自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要があります。

当社グループの属する電子機器業界のIT、デジタル分野におきましては、スマートフォンやIoT対応製品などの需要を背景に市場が拡大することが期待されております。

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに 대응べく製品等の改良施策を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は87億62百万円(前年同期比6.0%減)となり、営業利益は8億94百万円(前年同期比3.2%減)、経常利益は9億13百万円(前年同期比5.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億9百万円(前年同期比17.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子機器部品製造装置)

プリント基板分野では、直接営業に重点をおいた受注活動を海外子会社の活用や代理店との連携により進めておりますが、売上高は前年と比較して減少いたしました。しかしながら、継続的な原価低減活動の実施、海外向け高付加価値製品の販売比率が増加したことなどから売上原価率が改善しました。

液晶関連分野では、平成29年1月期に獲得した有力液晶パネルメーカー向けのインクジェットコーターの大口受注を生産、出荷し、当第3四半期連結累計期間においても、概ね計画どおりの売上計上となりましたが、前年同期と比較し出荷台数が減少しており売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は33億26百万円(前年同期比11.4%減)、営業利益は5億8百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

(ディスプレイおよび電子部品)

アミューズメント向け部品分野の売上高は、当社得意先の生産減少の影響により、前年同期と比較して減少いたしました。

工作機械および産業用機械分野の売上高は半導体市場等の好調に牽引され、前年同期を上回りました。既存顧客の掘り起こしや新規顧客への提案等、引き続き取り組みを継続してまいります。

自動車向け印刷製品の売上高は、一部製品が生産終了したことにより、前年同期と比較して減少いたしました。

子会社であるJPN, INC.においては、ラベル印刷製品の受注が好調に推移したことなどにより売上高が前年同期を上回りました。上海賽路客電子有限公司の売上高は前年同期と比較して減少いたしました。効率的な在庫管理の徹底など原価改善活動を進めた結果、売上原価率が改善しました。

その結果、売上高は54億27百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は3億86百万円(前年同期比38.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ20億95百万円増加の139億2百万円となりました。

流動資産は、85億23百万円となり前連結会計年度末と比べ19億81百万円増加いたしました。これは現金及び預金が9億98百万円、たな卸資産が4億99百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、53億78百万円となり前連結会計年度末と比べ1億13百万円増加いたしました。これは有形固定資産が1億39百万円減少しましたが、無形固定資産が1億45百万円、投資その他の資産が1億7百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて14億74百万円増加の111億65百万円となりました。

流動負債は、103億92百万円となり前連結会計年度末と比べ49億35百万円増加いたしました。これは、短期借入金7億78百万円、1年内返済予定の長期借入金33億4百万円、前受金が8億42百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、7億72百万円となり前連結会計年度末と比べ34億61百万円減少いたしました。これは長期借入金36億32百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、27億36百万円となり前連結会計年度末と比べ6億21百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を7億9百万円計上し、利益剰余金が同額増加したことなどによるものであります。この結果自己資本比率は19.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年1月期の通期業績予想につきましては、平成30年9月13日に開示しました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,400,272	2,398,961
受取手形及び売掛金	2,676,217	2,970,825
商品及び製品	148,919	248,056
仕掛品	1,681,296	1,910,186
原材料及び貯蔵品	423,268	594,820
繰延税金資産	108,151	108,908
その他	103,766	292,065
貸倒引当金	△192	△242
流動資産合計	6,541,700	8,523,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,573,028	1,480,345
土地	2,208,110	2,196,066
その他(純額)	1,111,396	1,076,940
有形固定資産合計	4,892,535	4,753,352
無形固定資産		
のれん	82,844	65,899
その他	42,883	205,517
無形固定資産合計	125,728	271,417
投資その他の資産		
繰延税金資産	45,119	36,965
その他	259,955	375,265
貸倒引当金	△58,236	△58,341
投資その他の資産合計	246,838	353,888
固定資産合計	5,265,103	5,378,658
資産合計	11,806,803	13,902,240
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,894,876	1,655,167
短期借入金	1,532,844	2,311,603
1年内返済予定の長期借入金	400,000	3,704,000
未払法人税等	70,796	160,360
前受金	805,968	1,648,645
賞与引当金	13,128	120,821
その他	740,163	792,366
流動負債合計	5,457,778	10,392,966
固定負債		
長期借入金	3,632,000	—
退職給付に係る負債	463,512	486,916
その他	138,350	285,875
固定負債合計	4,233,862	772,792
負債合計	9,691,640	11,165,758

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,860,466	1,068,072
利益剰余金	△3,842,011	1,619,134
自己株式	△20,002	△20,002
株主資本合計	2,298,453	2,967,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,203	4,232
為替換算調整勘定	△246,797	△300,653
退職給付に係る調整累計額	△4,526	△1,131
その他の包括利益累計額合計	△245,120	△297,552
非支配株主持分	61,829	66,829
純資産合計	2,115,162	2,736,482
負債純資産合計	11,806,803	13,902,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)
売上高	9,319,886	8,762,767
売上原価	6,704,930	6,208,665
売上総利益	2,614,956	2,554,101
販売費及び一般管理費	1,690,772	1,659,314
営業利益	924,183	894,786
営業外収益		
受取利息	2,365	2,674
受取配当金	320	224
受取補償金	—	27,615
為替差益	—	3,130
債務勘定整理益	—	31,330
受取賃貸料	16,067	21,417
受取遅延損害金	99,676	—
その他	13,950	14,182
営業外収益合計	132,380	100,576
営業外費用		
支払利息	47,328	47,503
為替差損	6,049	—
減価償却費	26,127	23,937
その他	9,597	10,451
営業外費用合計	89,102	81,891
経常利益	967,461	913,471
特別利益		
固定資産売却益	3,809	7,535
投資有価証券売却益	42,213	—
特別利益合計	46,023	7,535
特別損失		
固定資産売却損	3,167	3,751
固定資産除却損	3,556	15,236
特別損失合計	6,724	18,987
税金等調整前四半期純利益	1,006,760	902,019
法人税等	147,432	184,803
四半期純利益	859,327	717,216
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,621	7,699
親会社株主に帰属する四半期純利益	856,706	709,517

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)
四半期純利益	859,327	717,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,862	△1,970
為替換算調整勘定	245	△54,297
退職給付に係る調整額	17,210	3,394
その他の包括利益合計	△4,406	△52,873
四半期包括利益	854,921	664,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853,445	657,085
非支配株主に係る四半期包括利益	1,475	7,257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月25日開催の第45期定時株主総会において、次のとおり剰余金の処分について承認可決され、平成30年4月26日に効力が発生しております。なお、本件は「純資産の部」の振替処分であり、当社グループの純資産合計に変動はありません。

(1) 剰余金の処分を行う目的

資本構成の是正を図り、今後の資本政策の機動性の確保および早期復配体制の実現を目的として、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金および別途積立金を繰越利益剰余金に振替えることにより、欠損を填補するものです。

(2) 剰余金の処分の要領

① 減少する剰余金の項目およびその額

その他資本剰余金 4,792,394千円

別途積立金 1,000,000千円

② 増加する剰余金の項目およびその額

繰越利益剰余金 5,792,394千円

上記の結果、当第3四半期連結累計期間においてその他資本剰余金が4,792,394千円減少し、利益剰余金が4,792,394千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成29年 2 月 1 日 至 平成29年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,753,094	5,558,533	9,311,627	8,259	9,319,886	—	9,319,886
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,753,094	5,558,533	9,311,627	8,259	9,319,886	—	9,319,886
セグメント利益	645,117	278,981	924,099	84	924,183	—	924,183

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成30年 2 月 1 日 至 平成30年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,326,097	5,427,328	8,753,425	9,341	8,762,767	—	8,762,767
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,326,097	5,427,328	8,753,425	9,341	8,762,767	—	8,762,767
セグメント利益	508,148	386,620	894,768	18	894,786	—	894,786

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。